

○仏教の授業における「写経」の様子と生徒の感想



写経に取り組む様子



裏を透かして、丁寧になぞれたかを確認する様子

☆写経を体験した生徒の感想

1年 M.H さん

自分と向き合い、集中して写経に取り組むことができました。以前、「字が雑な人は心が乱れている」と聞いたことがあります。そのため、今日の写経に臨む際には、落ち着いた気持ちで目の前のことだけに集中し、上手になぞるように努めました。

写経の他にも、正座の時の正しい姿勢や、座布団を配置する際の正しい向きなど、礼儀作法についても多くのことを学びました。来る高野山研修旅行や日常生活においても、積極的に生かしていこうと思います。

また、号令を掛けるときに藤崎先生が使用されていた道具が、普段の勤行での般若心経読経の際に聞こえてくる拍子木の音と同じだったので、とても気になりました。

作法室に入ると線香の良い香りがして、祖父母の家を思い出し、緊張が解けて落ち着いて行動できました。改めて、写経は静かな安らかな気持ちで臨むことが大切だと感じました。

1年 M.H さん

今日、初めて写経を行いました。自分の字で書くのではなく、写経用紙の字をなぞるため、思っていた以上に時間がかかってしまいました。普段筆ペンを使う機会もないため、少し書きづらさを感じました。しかし、練習用の写経用紙と、提出までの期間をいただいたので、高野山に行くまでにしっかりと練習して、きれいに時間内に完成できるようにしたいと思います。

普段の生活で写経に取り組む機会は少なく、とても貴重な体験だと思うので、このような時間を大切にしていきたいと思います。

1年 Y.T さん

本日、私は人生初の写経体験をしました。その時の自分の行動を振り返ると、事前に配信された資料をよく読んで、しっかりと目的を持って臨めていたと思います。作法室の掲示プリントにも、今回の写経体験は高野山研修旅行につながる大事な実習だとありましたが、私にとっても非常に貴重な時間となりました。

また、「正座の仕方」や「和室のマナー」についても教えていただきました。高野山研修旅行は勿論、今後多くの場面で生かして生活したいと思います。

また、今回も私にとって身近なお話がありました。まずは正座について。剣道に取り組んでいる私は正座をすることに慣れていますが、今日はさすがに足が痺れました。すると、「目上の方が足を崩していいよ、と言ったらどうしますか？」という先生からの質問がありました。正解は、剣道の作法と同様で、「失礼します、と言って足を崩す」でした。

次に写経用紙の折り方について。初めに左側を折り、次に右側を折ります。剣道の道着や浴衣を着る際の順番と同じだそうです。また、剣道では座る時も立つ時も左足からで、「左」が基準になっています。つまり、剣道と仏教は通じるものが多いなと感じました。高野山研修旅行では、これまで学んだことをフル活用して頑張りたいです。